

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ヨネポン水和剤  
 農林水産省登録番号 : 第16255号  
 会社名称 : 米澤化学株式会社  
 住所 : 京都府京都市南区唐橋芦辺町14番地  
 担当部門 : 品質管理部  
 電話番号 : 075-681-9526  
 FAX番号 : 075-681-7377  
 整理番号 : 011  
 推奨用途及び使用上の制限 : 農薬(殺菌剤)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 【物理化学的危険性】

—

—

#### 【健康に対する有害性】

急性毒性(経口): ラット	区分5
急性毒性(経皮): ラット	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(500倍希釈)	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない

#### 【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期(急性): コイ	区分2
水生環境有害性 短期(急性): 甲殻類	区分1
水生環境有害性 短期(急性): 藻類	区分1

※記載のないものは「区分に該当しない」または「分類できない」

### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H303 飲み込むと有害の恐れ  
 H316 軽度の皮膚刺激  
 H318 重篤な眼の損傷  
 H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

- [一般的] ・使用前にラベルをよく読むこと。
- [安全対策] ・容器を密封しておくこと。
- ・保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。
- 〔応急措置〕
  - ・火災の場合、消化するために水、粉末、炭酸ガス、泡を使用すること。
  - ・目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医者に連絡すること。
  - ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
  - ・皮膚に刺激が生じた場合、気分が悪い場合は医師の診断、手当てを受けること。
  - ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
  - ・漏出物を回収すること。
- 〔保管〕
  - ・容器を密栓し食品と区別して、直射日光の当たらない涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
- 〔廃棄〕
  - ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事等の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：	単一農薬製品	
化学名【一般名】：	ノニフェノールスルホン酸銅【ノニフェノールスルホン酸銅】	
成分及び含有量：	ノニフェノールスルホン酸銅	40.0%
	鋳物質微粉、界面活性剤 等	60.0%

官報公示整理番号：化 審 法：－

安 衛 法：－

CAS No. : 6 1 6 0 7 - 8 3 - 8

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚に刺激が生じた場合、気分が悪い場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：直ちに多量の水を飲ませて吐き出させ、医師の手当てを受けること。
- 応急措置をする者の保護：保護具（保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋など）を着用すること。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡など。
- 使ってはならない消火剤：知見なし
- 特有の危険有害性：燃焼ガスには、一酸化炭素のほかに窒素酸化物などの有害ガスが含まれるおそれがある。
- 特有の消火方法：知見なし
- 消火を行う者の保護：適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。  
消火作業の際にはガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業をする。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
  - ・漏出した場所の周辺にロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
  - ・作業の際は適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び粉じんの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
- ・河川等に排出され、環境に影響が出ないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 少量の場合、ウエスなどでふき取る。

大量の場合、風で飛散しないように水で湿らせる。その際、河川等に排出されないよう盛り土などで囲う。こぼれたものを直ちにかき集め、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取 扱 い

技術的対策 : 使用するに当たって、ラベルをよく読み、記載事項以外の使用はしない。

取扱いは換気のよい場所で行う。

使用中、禁煙。点火源、着火源に近づけない。

曝露防止のため長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して作業を行う。

長期にわたる皮膚への接触又は繰り返し接触を避ける。

関係法規に準じて作業する。静電気対策を講じる。

保管

: 直射日光を避け、熱源から離して保管する。

容器は完全密閉して、換気のよい一定の場所を定めて保管する。

食品などとは区別して保管する。

8. 曝露防止措置および保護措置

ヨネポン水和剤	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH
第3種粉じん-総粉じん	8mg/m <sup>3</sup>	—
第3種粉じん-吸入性粉じん	2mg/m <sup>3</sup>	—

設備対策 : 屋内で取り扱う場合には、作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行う。

取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具 : 呼吸用保護具 ; 保護マスク

保護眼鏡 ; 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡

保護手袋 ; 不浸透性手袋

保護衣 ; 不浸透性防除衣

9. 物理的および化学的性質

物理状態 : 個体 (粉末)

色 : 暗黄色

臭い : データなし

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

上限 : データなし

下限 : データなし

引火点 : >300°C

自然発火点 : 470°C

分解温度 : データなし

pH : 9~10 (0.2%水)

動粘性率 : データなし

溶解度 水 : データなし

溶媒 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 (log 値) : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : 0.422 g/cm<sup>3</sup> (20°C) (見掛け比重)  
相対ガス密度 : データなし  
粒子特性 : データなし

#### 10. 安定性および反応性

反応性 : 通常の手扱いにおいては安定。  
化学的安定性 : 通常の手扱いにおいては安定。  
危険有害反応可能性 : 通常の手扱いにおいては安定。  
避けるべき条件 : 加熱、着火源、高温、多湿  
混触危険物質 : 知見なし  
危険有害な分解生成物 : 燃焼時、一酸化炭素のほかに窒素酸化物などの有害ガスが含まれるおそれがある。

#### 11. 有害性情報

急性経口 LD<sub>50</sub> : 4,090~4,500 mg/kg (ラット)  
急性経皮 LD<sub>50</sub> : >5,000mg/kg (ラット)  
皮膚腐食性/刺激性 : 軽度の刺激性 (ウサギ) ごく軽度の紅斑 (7日以内に消失)  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 製剤 重篤な眼の損傷 (ウサギ) 角膜混濁、結膜の充血、浮腫 21日以上  
500倍希釈液 刺激性なし  
皮膚感作性 : 陰性 (モルモット)  
変異原性 : データ不足のため分類できない  
発がん性 : データ不足のため分類できない  
生殖毒性 : データ不足のため分類できない

#### 12. 環境影響情報

水性生物急性毒性 : コイ LC<sub>50</sub>(96hr) ; 2.2 mg/L  
オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48hr) ; 0.44 mg/L  
緑藻類 ErC<sub>50</sub>(0-72) ; 0.072 mg/L  
残留性・分解性 : データなし  
生体蓄積性 : データなし  
土壌中の移動性 : データなし  
オゾン層への有害性 : データなし

#### 13. 廃棄上の注意

都道府県知事等の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。  
使用後の空き容器は、他の用途に使用しない。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

国連番号 : 3077 (環境有害性物質 固体)  
国連分類 : クラス 9 (その他の有害性物質)  
容器等級 : III  
海洋汚染物質 : 該当  
緊急時応急措置指針番号 : 171

##### 国内規制

陸上輸送 : 道路法等に定められている輸送方法に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。  
航空輸送 : 航空法に定められている輸送方法に従う。

##### 輸送の特定の安全対策及び条件

火気を近づけない。  
容器が破損しないよう、丁寧に扱う。

荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。

水濡れを避け、直射日光が当たらないようにする。

車両、船舶などには保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

#### 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第16255号  
適用作物、適用病害虫、使用方法・回数を遵守すること。

消防法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） : 非該当

水質汚濁防止法 : 排水水及び地下浸透水の基準；銅基準値に準拠する。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物に準拠する。

水道法 : 水質基準；銅基準値に準拠する。

#### 16. その他の情報

記載内容についての問い合わせ先： TEL 075-681-9526

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。

この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要なものです。

注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。

本製品はこの安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱いしてください。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障をするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。